

14歳の春 胸に誓った思い

立志式を通して考えたこと

翌檜新聞



志 覧 録

第3号
2019.3.5
第73代
伊敷中生徒会



2月9日(土)、伊敷中学校体育館で立志式が行われました。

第一部の式典では、個々が書いた「自覚・立志・健康・奉仕」の4つの誓いと夢、そして感謝の気持ちを胸に臨みました。また「14歳の決意」で、生徒会長の亀田周杜くんは「どんな高い目標にも挑戦し、全力で生きることを誓い、14歳の決意といたします。」と述べました。

その後の記念講演では、ジミー入枝さんが、夢の実現に向けてのメッセージを

自身の経験や笑いを交えて話してくださいました。

午後は、玉江小学校・草牟田小学校に分かれてイベントが行われました。玉江小学校ではグラウンドゴルフが行われ、地域の方々に教えていただきながら楽しく活動していました。

草牟田小は、草牟田地区の名称の由来についての話や洗濯バサミを使ったゲームを楽しみました。どちらの校区でもたくさんの方々に「地域社会の一員である。」と自覚することができまし

た。

立志式を迎えて、二年三組の小野原船君は、「立志式を通して自分の夢がはっきりして、それに向けてやるべきことが明確になった。また午後は、地域の方々と話をし、グラウンドゴルフを通して交流することができてとても楽しかった。」と話していました。

(安藤 綜悟)



自分のなりたい職業を掲げる二年生



左:グラウンドゴルフを楽しむ二年生 右:ジミー入枝さんと二年生

ベルマークで喜びを

奉仕活動

1月12日(土)、奉仕活動の時間に、「ベルマークで何が出来るのか」というテーマで話し合いました。ベルマークは私たちの生活の助けになるものです。例えば、学校内で不足しているものを購入することができます。また、被災地で必要としているものをベルマークと交換して送るなど、被災地への支援としてベルマークを活用することもできます。ベルマークは小さな紙切れですが、たくさん集めると人を助ける大きな力になります。話し合いに参



ベルマークの使い道について話し合う三年生

働く人の思いを知る!

社会人に学ぶ

1月24日(木)、一年生は「社会人に学ぶ」の講話がありました。MBC、ネットコトや鹿児島、助産師、鹿児島ユニテッドFCなどの職業の方が来校され、それぞれの職業のことをお話しくださいました。

MBCの方から話を聞いた一年四組の中島知希くんは「仕事の中身をよく知ると、一人ひとりが責任をもって仕事をしているということが分かった。働く人たちがどんな気持ちで仕事に臨んでいるのかが分かり、自



美容師さんの実演

分の将来を考える良い機会になった。」と講話の感想を述べていました。実際に働く人たちの話を聞くことは、自分たちの視野を広げることにつながったのではないかと思います。様々な人たちの考えを聞きながら、自分の進路についても考えていけたらと思います。

(荒木陽稀)

生徒会の窓

みなさん「勇壮(ゆうそう)」という言葉を知っていますか。この言葉には「勇ましく、意気がある感」があります。勇ましいは何事にも恐れず積極的な様子、意気は「さあやるぞ」という盛んな気持ちです。

何事にも積極的に「さあやるぞ」という気持ち。それは、前向きに活動するときには欠かせないものではないでしょうか。この「勇壮」を身に付けるためには、「決心して挑戦」することが大切だと思います。

私たち二年生は先日、立志式を迎えました。そこで、「どんな高い目標にも挑戦する」ことを14歳の決意で誓いました。私たち二年生だけでなく、全校生徒で小さな小さなことでも決心して挑戦しましょう。

しかし、多くのことに挑戦しようとして、何もかも中途半端に終わらせることは良くありません。だから、自分に必要なことを見極めてしっかりとやりきることも大切です。

何事にも「さあやるぞ」と勇壮の気持ちを持ち、積極的に取り組みましょう。そうすることでみなさんの力が最終し、私たちのスローガン Power Of I shiki に近づけることができるのではないのでしょうか。

(亀田周杜)

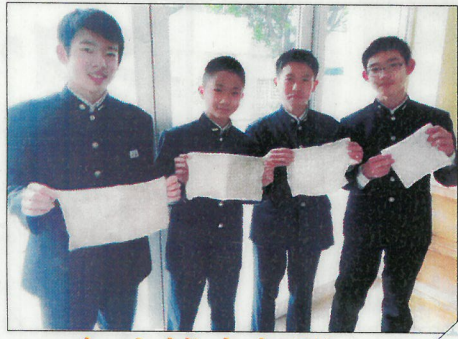
特集 まれいな学校を極めろ！美化部からの気付き

廊下を綺麗に「雑巾部隊」参上！

今回の「美化部からの気付き」は「雑巾部隊」の紹介です。みなさんは「雑巾部隊」を知っていますか。これまで、翌檜新聞でも何度か紹介されています。「雑巾部隊」が活動を始めるのは、毎日4時間目終了後です。雑巾を持って、給食堂前に立ちます。そして、給食当番が廊下を歩いた後、落としてしまったしずく等をふきとっているのです。

この「雑巾部隊」の活動は美化部からお願ひしているものではありません。寒い時期でも自主的に雑巾を持ち、活動してくれています。伊敷中学校の廊下が綺麗に保たれているのも、「雑巾部隊」のみなさんが毎日活動してくれているからです。言えます。

「雑巾部隊」の活動をしているときの気持ちについて「こぼれてしまった汚れを綺麗にすることでやりがいを感じたり、綺麗になってうれしい気持ちになります。また、先生方に褒めてもらうと、より頑張ろうという気持ちになります。」と語っています。また、二年生が活動している姿を見て、「雑巾部隊」の活動を始めたい一年一組の江藤柚夏さんは「私たちが活動しているのを見て、少しでもやってみようかなと思ってくれたり、興味をもったりしてくれるとうれしい。」と話してくれました。是非、仲間が増えてくれたらと思います。



二年生雑巾部隊



一年生雑巾部隊

雑巾部隊活動の様子



「雑巾部隊」の活動を始めたい一年一組の江藤柚夏さんは「私たちが活動しているのを見て、少しでもやってみようかなと思ってくれたり、興味をもったりしてくれるとうれしい。」と話してくれました。是非、仲間が増えてくれたらと思います。私たち伊敷中学生は、青少年赤十字が掲げているのが「気付き・考え・実行する」というもの。みなさんの教室の前方に掲示されている言葉です。この「雑巾部隊」のみなさんの行動はまさにこの赤十字が掲げる「気付き・考え・実行する」につながるものです。綺麗な環境。それは、自然とできるものではなく、一人一人の気付き、考え、そして実行しようという気持ちで作られるものであるということ。「雑巾部隊」の人たちは気付けてくれます。

（入来夏風）

話し合いを充実させるために

学級専門班会



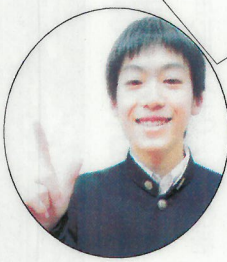
ルーブリックシートを使って話し合いをする二年生

毎月一回、学級専門班会が開かれます。まず、みなさんは、学級専門班会が開かれる目的を分かっていますか。それは、生徒会活動を充実させるためです。自分たちの班の活動の様子だけでなく、他の班の活動を振り返り、よい点は伸ばし、できなかった点は改善し、よりよい学級を作っていくために話し合いをします。学級をよりよくすることは、学年をよりよくすることにつながります。よくすることは、学校をよりよくすることにつながります。では、みなさんのクラス

課題発見力は、自分の学級や学年ができていないことを把握する力！自分の学年で改善が必要とされるものを見付けよう！

論理的思考力は、こういう取組をしたからこうなったというように理由も添えて、自分の意見をもつ力！また、状況に合ったアドバイスを意見として発言するためにも必要な力！

協働する力は、意見を出し合う力！意見の共通点や違いをはっきりさせて、他の人と意見を重ねながら発展させよう！



また、いくつ

この姿が表れることを目指して話し合いをするのが充実したものになるのではないかと思います。二学期の代議員会の際、生徒会長の亀田周杜くんは、話し合いとルーブリックに示された資質・能力について話をしました（上のとおりです）。

FACE

二年四組 後藤悠太くん



皆さんは普段から、正しい門札を意識することができていますか。今回のFACEでは、毎日素晴らしい門札をしている二年四組の後藤悠太くんインタビューしました。

Q1 どんなことを心がけていますか。

A1 心掛けているというよりずっと同じことを続けているだけです。

Q2 門札を意識するようになったきっかけは、何ですか。

A2 入学式の生徒会入会式です。その時に、門札のことを知り、ずっと守り続けています。

Q3 最後に皆さんに一言お願いします。

「志・寛・練」を見つめる後藤くん

A3 門札の後、校舎の「志・寛・練」を3秒見ることができています。その礼の後の3秒が短い気がします。僕が目立ってしまおうのもう少し長くしてください。

門札は気持ちを込めてすることで学校や先生、友達に感謝の気持ちを伝えるという意図があります。また、型を整えることで、心を整えるというところにもつながります。「志・寛・練」を見まわそう。みなさんもぜひ正しい門札を意識してみてください。

（田島悠太郎）

編集後記

今回の翌檜新聞も気付きを多く取り入れることを目標に作り直しました。より多くの読者が得た気付きを学校生活に生かしていただければうれしいです。また、これらの期間一人ひとりが「考慮」して悔いのない3学期にしましょう。

引き続き翌檜新聞のご愛読よろしくお願ひします。

（宮ノ前那海）